



# 木童 通信 vol.28

平成22年8月発行

木童 東京ショールーム  
 open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00  
 close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)  
 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F  
 TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126  
 URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

## ★人工乾燥材の製材所と天然乾燥材の森林組合

「天然乾燥が良い」、「いや、人工乾燥が良い」なんて議論もありますが、兎にも角にもそれぞれの木材乾燥工場の話。



製材品に散水することで、乾燥前の内部割れ予防処理をしている。(実験中)

A木材(製材所) —スギとヒノキの製材量はそれぞれ年間約2万立方、住宅での木材使用量として2千棟分以上の大変な量ですが宮崎県では中の上程度の規模。しかし、乾燥機の数台は宮崎No1。その製材所の社長は乾燥オタクと言って良い位、乾燥材にこだわっています。今年の春に27台目の新型の乾燥機を設置したのですが、付きっきりで乾燥工程を探っているそうです。実はこの乾燥機の導入には木童が大きく関わっています。「加熱蒸気式木材乾燥機」という新しい考えから製造された機械で、大きさがマチマチの材と一緒に入れても乾燥させる事が出来、※1内部割れの発生も大きく減少させられるという事です。設置から約4ヵ月、ヒノキ材はほぼ満足のいくレベルまでに持ってこられたが、スギはまだ発展途上のことです。



ココに製材所があります



1年以上寝かされた天乾材のストック

B森林組合(製材・加工) —管理している山林は※2FSC認証を受けています。そこから産するスギの構造材は天然乾燥材で売って行く方針を建て、※3葉枯し乾燥3ヵ月→天然乾燥1年以上という乾燥工程で含水率を25%前後に落とし、出荷しています。宮崎市からも熊本市からも2時間半以上もかかる林業しかない村の生き残りの方法として、この方向を選んだそうです。ただし、切り立った山間の村なので在庫を置くストックヤ

ードを広く取れず、現在の供給量は年間50棟分。多くの量は出せませんが、使ってくれる人達に割れることや収縮することもあるがスギの良さを丁寧に伝えるには丁度良い量かもしれません。

A社もB組合も、乾燥方法は違いますが、良い製品を送り出すために今出来る事を真面目に取り組んでいます。日本のほとんどの地域でスギは有り、製材所もあります。乾燥機は高価なので中々導入は難しいかと思いますが、知恵を使い、人と協力すれば道は必ず開けます。弱いと言われて九州材でも、建築家の考え方でいか様にも使用出来ることは、木童の選んだ材を使っている建築家の方々の作品を見てもらえば解ってもらえるでしょう。

PS: “スギは弱い”、“人工乾燥材は強度が心配だ”と言われるアナタ、是非この本を読んでください。東大名誉教授/宮崎県の木材活用技術センター所長の有馬孝禮先生が書かれた名著です。正しい知識を身につけ、国産材を建築に使用してください。(木童ショールームでも読めます)

- ※1 表面を固定化(寸安定)するセット乾燥において、内面に乾燥による収縮が起これ、表面には割れが出ないが内部に割れが起これる。
- ※2 森林管理協議会(しんりんかんりきょうざい、FSC:Forest Stewardship Council)とは、国際的な森林管理の認証を行う協議会のこと。1993年10月にカナダで創設されたNGO。生産を行う森林や製品、流通過程の評価、認定、監督を行う。機関の構成員は、世界各国の環境保護団体、林業経営者、木材業者、先住民族、森林組合など。現在の国際本部はドイツのボンにある。Wikipedia ウィキペディアより
- ※3 伐採した木を山側に倒し、切り口を切り株に乗せ、約3ヵ月放置することにより木の中の水分が葉に移動しながら乾燥し葉が茶色く枯れた状態になることからそう呼ぶ。スギ材は含水率が高いため、そうすることによって切り出す際の重量が減り、含水率も80%前後まで落ちる為、天然乾燥の際の個体による乾燥のばらつきが減少される。

## ★みちのくの大地の恵み ～豊富な広葉樹を俵う～

広葉樹が豊富なのは何も北海道に限った事ではありません。東北地方も広葉樹の宝庫です。白神山地等の豪雪地帯では、雪の下での発芽性を持つブナが優勢してブナ林を形成し、ナラ・クリ・くるみ・カエデなどの雑木林も我先にと葉を拵げて勢力を拡大します。広葉樹といえは杉や桧と違って成長に数百年掛かりそうなイメージがありますが、クリやくるみ等は80年前後から十分建材として利用できます。広葉樹の資源循環サイクルも想像以上に早いのです。

先日静岡の代理店、工務店さんと一泊二日で岩手・秋田の産地を訪ねました。工務店さんは静岡市で地元の安部杉・桧をはじめ国産材オンリーの家づくりをすすめる、こだわりの工務店です。一方で杉と桧だけの家づくりに対して制限(例えば顧客の層を限定してしまっている、設計の巾を狭めてしまっている等々)を感じ、国産広葉樹の活用を思い立ち、木童の産地訪問に至りました。



山栗の植林地。地元中学生と一緒に植林。

「今後使っていけるだけの資源があるのだろうか」、「生産者はどういう想いでやっているのだろうか」という不安もあったようですが、圧倒される資源量と何とか利用していこうという想いに出会い、安堵されたようです。工務店さんは利用者側が求めている考えや想いもぶつけられ、熱い話し合いになりました。国産材オンリーの家づくり、木童と同じ想いを持つビルダーが増えてきたことがとてもうれしく思います。



製材所にてストック・乾燥されています。樹種も豊富にありました。

## ★家づくりの現場から ～K邸・垣子市 設計：植本計画デザイン～

建築家にしかできない住宅があります。垣子市K邸、別名「屋上段々テラスのある家」を見たときにこれがそうだと実感しました。設計の植本氏は本住宅の解説の中で『温暖な場所では「室内」だけで過ごすように考えられた住宅は片手落ちです。「外部で過ごす」あるいは「外部とつながって過ごす」ことが積極的に評価されるべきです。』と述べています。

K邸は、1Fに浴室からつながる庭、2Fにリビングからつながる大きなテラス、そして屋上には空までつながる大きな階段状のテラスがあります。そのどれもが魅力的な空間として存在しています。



ちなみに室内は、構造材に木童のオビ赤杉、天井は長野県産ヒノキ合板が全面に、床は相生杉の厚板、壁は漆喰塗というざっくりとしたとても落ち着いた空間。キッチンを覗くとプロ用の超高カロリーガスコンロ! この建物を見ると建主の人柄まで伝わってきそうです。それを体現している住宅、やっぱり建築家にしかできないと思いました。

## ★ショールーム・一新計画

木童に来ればいろんな木が見られます。主に国産材で、輸入材も含めて建築用材で約20種、家具用や雑木も含めると約100種もの木があります。置いてある家具も、デザインではなく、“質感が同じ”であることを条件に、約10社の製品が並んでいます。お客様が選んだ椅子が全部違う工房のものということも多々あります。同じデザイナーの作でなくても実は全然違和感なく収まりますよ!



さて、そんなショールームの家具達を、あえて“8月10日よりほぼ入れ替える”という計画が整いました。

岐阜高山の家具工房「木馬舎」さんとのコラボ企画です。今回初めて1社の製品で揃えてみようという試みです。これまでつい家具は二の次という形になっていましたが、5年という節目に木童もいろいろ仕掛けを施していきます!

### 木童 NEWS ラインナップ

#### \*ラジエントクッキングヒーター実演講習会のご案内\*

前号でご案内したラジエントクッキングヒーターをより詳しく知りたい!というお問い合わせに対して、第2回の実演講習会を企画しました。「IHクッキングヒーターと何が違うの?」「電気代はどのくらい?」「本当においしい料理できるの?」などなどの疑問を、大きなハンバーグと調理が面倒な大学芋を例に実演致します。

○日時: 8/29(日) 11:00~13:00 ○場所: 木童東京ショールーム ○参加費無料

※プロの方・一般の方ともご参加いただけます。先着順15名程度の募集です。



- 8月13日(金)~16日(月)まで夏休みをいただきます。(神戸事務所もお休みです。)
- 無料家づくり相談会のご案内 8・9月開催日: 8/7(土)・6/28(土)・9/4(土)・9/25(土)

#### 企画展のご案内

- 第86回企画展 8/2(月)~7(土)「木と漆喰をつかった、住宅リフォーム」展 NPO法人木の家だいきの会
- 第87回企画展 8/9(月)~27(金)「涼しさを感じる夏のしつらい」展 駱駝(骨董の照明や建具の展示です)
- 第88回企画展 8/30(月)~9/4(土) NPO法人木の家だいきの会さんの展示予定
- 第89回企画展 9/6(月)~24(土) JIAさんの展示予定
- 木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。